

2023年4月14日 第3426回例会

於： 横須賀商工会議所



- <点鐘・開会> 12:30 前田 会長
 <斉 唱> 「君が代」「奉仕の理想」 ソングリーダー 佐久間博一 会員
 <唱 和> 「四つのテスト」
 <ゲスト紹介> *国際ロータリー第2780地区パストガバナー 田中 賢三 様
 (茅ヶ崎RC)

- *米山奨学生 李世林 様
 <ビジター紹介> *横須賀北ロータリークラブ 福嶋 義信 様

- <誕生日祝> *若麻績 泰道 (S.21.4.9) *新倉 定治 (S.16.4.14)
 *藤村 昌一 (S.34.4.14) *西村 安彦 (S.32.4.25)
 *三堀 孝夫 (S.25.4.30) 各会員

- <入会月祝> ・丸山 晁巨 ・菽生田 徹 ・若麻績 泰道 ・関口 太郎
 ・植田 威 ・猿丸 新二 ・杵渕 哲也 ・小平 一穂
 ・岩崎 次郎 ・小山 美智恵 ・笠木 英文 ・椿 和香 各会員

- <会長報告> *ガバナー事務所より
 ・ロータリーレート変更のお知らせ 4月1日より1ドル133円 (現行136円)
 ・青少年交換プログラムについて
 ※来日学生 Chia-Yuan WEN 君 国籍：台湾
 RI 第3501地区 Ping Chen Chung Feng RC
 ※ホストクラブ今後のスケジュールについて
 6月 3日(土) 第3回ホストクラブ説明会 14:00～ 於：第一相澤ビル
 8月26日(土)～27日(日) 来日学生第1回オリエンテーション
 於：逗子開成中学校高等学校 海洋教育センター
 ・次年度向け会員増強セミナー開催のご案内について
 5月13日(土) 13:30～15:30 会場：松下政経塾 講堂(茅ヶ崎市汐見台5-25)

- <委員長報告> *雑誌委員会 笠木委員よりロータリーの友4月号
 *インターアクト委員会 鈴木(之)委員長よりインターアクト一泊研修 報告
 *出席委員会 加賀本委員より3月分出席報告 3月平均出席率77.74%

	会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メークアップ数	出席率
3月 3日	115名	102名	73名(6名)	29名	10名	80.58%
10日	115名	101名	61名(8名)	40名	10名	70.30%
17日	115名	100名	68名(3名)	32名	15名	82.18%
24日	115名	104名	71名(8名)	33名	15名	77.88%

- <幹事報告> *西ロータリークラブより 4月29日 チャリティーコンサートのご案内

- <出席報告> *出席委員会 加賀本委員より4月14日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メークアップ数	出席率
113名	99名	75名(4名)	24名	8名	82.18%

<ニコニコ報告>

- ・国際ロータリー第2780地区パストガバナー 田中賢三 様
本日の卓話の謝礼をニコニコに寄付させていただきます。
- ・福嶋 義信 様 (横須賀北RC) いつもお世話になります。新倉定治会員お誕生日おめでとうございます。
- ・三 役 国際ロータリー第2780地区パストガバナー田中賢三様ようこそお出で下さいました。本日の卓話よろしくお願ひいたします。

- ・比 護、松 岡、長 島、杉 浦、勝 見、梁 井、福 西、藤 村、八 巻、
新倉 隼、植 田、田 中、小 平、児 玉、佐久間、上 林、小佐野、小 沢、
田 邊、徳 永、飯 塚、田 村、猿 丸、澤 田、小林 隼、根 岸、杵 淵、
岡田 隼、萩 原、勝 間、野 坂、土 田、小林 (-)、齋藤 隼 各会員

国際ロータリー第2780地区パストガバナー 田中賢三様本日は横須賀RCにお越し
戴き有難うございます。卓話も大変楽しみにしています。宜しくお願いします。

- ・松 岡、大 石、新倉 隼、鈴木 健、八 巻、江 口、小山 隼、佐久間、
田 邊、小佐野、福 西、澤 田、中村 備、齋藤 隼、野 坂、小 沢 各会員
横須賀北ロータリークラブ福嶋義信様、米山奨学生李世林様ようこそ横須賀RCの例会
にお越しくございました。李さん勉強頑張ってくださいね。応援しています。
- ・新倉 隼、藤 村 両会員 誕生月祝いとして
- ・関 口、植 田、猿 丸、二 瓶、小 平、小山 隼、笠 木、椿 各会員 入会月祝いとして
- ・石 田、加藤 健、岡田 隼、加賀本、二 瓶、木 村、
笠 木、鈴木 健、小保内、白 井、小山 隼 各会員
高校野球春季県大会 三浦学苑はシード校ですね。明日3回戦、がんばれー！
- ・前 川 会員 少々元気になりましたのでお仲間に戻らせて頂きたいと思ひます。宜しくお願いいたし
ます。
- ・勝 間 会員 女性会員の皆様、先日は楽しい女子会に参加させて頂き有難うございました。また、
数々のお心配り頂き有難うございました。
- ・前 田 会長 久しぶりの例会です。今月もニコニコボックスを宜しくお願い致します。

<卓 話> 「ポール・ハリスとロータリーの大河」

国際ロータリー第2780地区パストガバナー
田 中 賢 三 様 (茅ヶ崎ロータリークラブ)

皆様こんにちは。沢山のスマイルと励ましの言葉をいただきまして、誠にありがとうございます。

一つの絵を紹介いたします。この家はポール・ハリスがロータリークラブを生んで、そして生涯奥様と一緒に暮らし、大勢のお客様を迎えてロータリー財団をつくった場所でもあります。ここを訪ねた時には寄付をしてバッジを頂くというのが通例でございます。私はロータリーの「聖地」と言われる所を4つか5つは歩いています。バーモント州ウォリングフォードで、ポール・ハリスは祖父祖母に育てられました。ここでロータリーは生まれたと言っても過言でないと言われていす。そして小沢会員とRI本部(イリノイ州エバンストン)やロータリー財団の聖地のアトランタにも行きました。今日、冒頭の挨拶は、花には水を、奥様には愛を、ロータリークラブには奉仕を、ロータリー財団、米山記念奨学会には寄附をお願いし、横須賀ロータリークラブの会員の皆様には健康と繁栄を心より祈念を申し上げたいと思ひています。



今日は資料を3つ用意させていただきました。まずは「ポール・ハリスとロータリーの大河」の資料です。ポール・ハリスを中心にお話をさせていただきます。ロータリーで尊敬する人をポール・ハリス、米山梅吉、アーチ・クラフとしました。それぞれが同じ年代でロータリーの基礎をつくって、現在もその流れに乗っ

ている訳であります。このお三方は全て幼少時代とても苦勞をされています。ポール・ハリスはお金が無く祖父のところへ行ったり、米山梅吉さんもそうでした。苦勞されて学問をされて現在のロータリークラブの態勢を作ったアーチ・クランフも全く同じであります。アーチ・クランフは寝ても覚めてもロータリークラブということでR I会長も務められましたし、ロータリー財団を創立され、国際ロータリー定款などの4つの規定がありますけれども、この原型をつくれ、25万ドルの寄付もされています。ちなみに小沢会員も寄付をされ、皆様もご存じの通りの活動は、この地区での世界に誇れる自慢であるという風に思っております。

朗読をする前に、ポール・ハリスの父ジョージ・ハリスは祖父から結婚祝いにウイソコンシン・ラシーンでドラッグストアをプレゼントしてもらったが破産をしました。以後、何度も破産。万策尽きてポールを祖父母に預けました。母コーネリア・ハリスは音楽教師で浪費家でした。二人はお人好しでしたが、生活能力に欠けていました。祖父はハワード・ハリスでバーモント州ウォリングフォードに住み、祖母はパメラ・ハリスで祖父母は勤勉・質素・厳しくも優しい性格のポールは近所でも有名な腕白少年時代を過ごしたそうです。山野を駆け巡り、池で泳ぎ、蒸気機関車の夜汽車に深夜乗り込んだりと、冒険家でした。父母は大好きであったが、生活がでたらめで反面教師として多くを学び、祖父母からは本当に良い教育を受けました。勤勉・寛容・親切と奉仕・献身・愛情・誠実・質素・無私・平和と安らぎ等々、家庭を代表する美德を学び、バーモント大学、プリンストン大学で論理学と心理学を学んでいましたが中退し、祖母パメラ・ハリスの勧めでアイオワ大学で法律学を学び、弁護士資格を得ました。その後、5年間の放浪の旅をし、28歳くらいでシカゴに弁護士事務所を開き、それから熟慮に熟慮の末、10年後にロータリーの構想を実現。ポール・ハリス37歳の時でした。

My Road To Rotaryというのはロータリーの原点であり、ロータリー学原論と言われている書であります。そして、1945年当時の国際ロータリー会長はポール・ハリスのことを、「ロータリーの創始者ポール・ハリスは、平和な親しみやすい世界をつくらうという大きな夢を描いた天真爛漫な人でした。」と語っています。

それでは朗読に入ります。

「ロータリーとは何か100人100様の答えをしていますが、ロータリーが何であるかより、ロータリーは何をしているのかを語る方が簡単です。最近こんなことを言った人がいます。もしも、ロータリーが人間とか人生というものを一層温かい目で眺めるように、我々を見つけ入れてくれるなら、もしもロータリーがお互いの長所を認めるために、我々が一層、寛容で熱意を持つように教えてくれているなら、もしもロータリーが人生の楽しさと美しさを発見してそれを広めようとしているなら、もし相互の親善の場であるならば、ロータリーは我々の望み、平和な親しみやすい世界を全て叶えてくれる。祖父母の人生観には説得力がありました。幸福満足、平和というものは、天才とか一時的な努力とか、容姿端麗であれば得られるというものではなく、規律、思いやり、親切心から得られることがはっきりと分かりました。私には、注意深くて系統立っている祖父母と、お人好しではあるが駄目な両親の両方から学ぶことができたのは二重の幸運だと思っています。

1891年にアイオワ大学法学部卒業、23歳でした。アイオワ大学を卒業する頃になって特に興味を覚えたことがあります。それは人間の生き様を知ることでした。まずアメリカ人の生き様を知り、ついでに諸外国の人々の生き様を知りたくなったのです。私の同級生は皆健全な考えの持ち主で分別があり、卒業後、60日以内に好きな場所で法律事務所を開くことでしょう。こんな時に私の信念を支えてくれる出来事がありました。大学の卒業式で一人の弁護士が講演をしました。彼は10年前にアイオワ大学を出て、法律事務所を開いていましたが、次のようなことを話してくれました。卒業生の皆さん、まず手始めにどこか小さな町へ行って5年間ブラブラ遊んでから、好きな都会に行き弁護士事務所を開業するのも面白いじゃありませんか。このアドバイスを聞いて私の心のわだかまりはすっかり消えました。そして、小さな町だけでなく行けば世界中どこでも行ってブラブラ遊んで5年間過ごすことにしました。素晴らしい冒険です。勝手気ままなことをやってから、シカゴのような大都会に居を構え、弁護士の看板を出して頑張ろう。

そこで私は放浪の旅に出ましたが、一度たりとも後戻りはしませんでした。アメリカ人や外国人を研究しようという私の好奇心を原動力として、この旅をやり抜こうと心に決めました。私はこれまでの旅行で一回もタダのりをしたことはありません。運賃を払うか労力と交換するかで、荷物はいつも自分でも持って歩いていました。そして生活費を得るためには、どんな仕事でも常に引き受けて、一生懸命やりました。決して

投げやりなことはしませんでした。借金すれば必ず返しました。放浪生活の5年にはまだ3ヶ月残っていましたが、弁護士を開業するためにシカゴに来ました。私の少年時代は終わったのです。28歳の時点です。旅行したり働いたりしたことは大人になるための良い肥やしでした。1896年の春、ついにシカゴに居を構えることができました。しかし、実業界の専門職業の分野で活躍している人たちを集めて世界的な親睦団体をつくらうという構想はまだ湧いていませんでした。この構想を抱くまでにはまだ他の経験を積まなければなりませんでした。その土台は立派に出来ていました。私は物事に感じやすかったのも、悪いものの中でも良いものを見つけたり、荒んでいるところでも友情を育んだりしました。また、実業家たちの間にも相互の信頼と信義が必要であることを発見しました。したがって、世界的親睦団体をつくったら、という構想に前向きであったことは当然の成り行きと言えます。人間は苦しんで初めて向上するものです。まず、誰かが必要なものを心に描き、どうやって実現しようかと苦勞しなければ構想はまとまるものではありません。これまで苦勞したおかげで、私は人間にはこういう関係が必要なことに気がつきました。これはおそらく自然の説明です。人間には人間同士の付き合いが必要なことを発見しました。同じような若者がたくさんいるに違いありません。この大都会シカゴで各種の職業から政治や宗教の立場を離れてお互いの意見を大らかに認め合えるような人を一人ずつ選んで親交団体をつくったら、という構想が浮かびました。もしこんな団体ができれば、お互いに助け合えるはずで、私はこの衝撃をすぐには実行に移しませんでした。何ヶ月いや、何年も待ちました。私は熟慮に熟慮を重ねた結果、ついに1905年の2月、3人の若い実業家に呼ばれて集まりました。そこで昔お互いが故郷の村で体験したように相互の協力を推進したり、お互いに裸の付き合いを深める方法について簡単な案を出したところ、全員が賛成してくれました。会員を啓発する方法の一つは、人々の気持ちの中に少年時代の心を残すことです。善良な人間の心の中には、少年時代の事が焼き付いています。少年時代は人生を見る目は素晴らしいものです。清らかな目で、偏見はなく、寛容で、熱意と友情にあふれています。少年の心を失ったと言われることは悲しいことです。人間は心を明るくして、友達の良い点を見習っていきさえすれば、老化現象は起きません。ロータリーは、少年時代の心を忘れずに発展向上を目指す、会員を激励し援助する団体です。ロータリーの目的は社会的地位、宗教的信条や国籍が異なる実業家や専門職業に従事している人を集め、相互理解を深め、その結果、思いやりと友情が深まり、助け合いができるようにすることです。親睦はお互いのためになるということ全員が理解していました。ロータリーの理想の展開と実践活動も急速に進展していきました。しかも、有言実行ということで、各種の奉仕活動を行いました。そして、その成果として、現地、国とも奉仕がロータリーの功力になったのです。ロータリークラブの会員は、あらゆる職業の人と交際することができて、人間の幅を広げることができるのです。会員はロータリーの理想と考慮が職場の人に受け入れられ、しかも感謝されるように努力する必要があります。ロータリーについて学ぶとともに、ロータリーの恩恵に浴した人は、ロータリーのために貢献するようになってくれます。ロータリーは社外、生活の場では成人確保の役目を果たします。ロータリーは近代生活の各方面に影響を与え、会員の視野を広げ、人生を豊かにする信仰の目的を達成しているのです。ロータリーは会員として誇りを持っている。理由はたくさんあります。良い業績を上げることだけがロータリーの目的ではありません。良い業績というものは、ロータリーの奥にあるものが姿を表したものにすぎません。ロータリーは目に見えない力を働かせて業績をつくっているのです。この力が自然の力であって、ロータリーの原動力なのです。ロータリーの考えによると、実業活動は人生の主要な部分ですが、人生の全ての部分ではありません。自分の業績の範囲内のことしか分からない人は可哀そうです。自分の仕事の分野でどんなに成功してもそれだけでは不十分です。ロータリーの目標は現実的なものであって、ロータリーの原理は健全な哲学の上に立っています。ロータリーの目標は人生を豊かにすることです。私の一生において仕事の進め方が随分変わりましたが、それもロータリーの強い影響を受けたからです。ロータリーは倫理的な理想を会員以外のあらゆる職業の人にとってまで広げて行く事が出来ます。つまりロータリアン各自がロータリーの理想と自分の職場を結ぶ綱のようで、きちん、きちんとクラブの会合に出席すると、会員相互の友好親善を通して人生が豊かになります。またロータリーの文化プログラムに参加すると、精神的、倫理的な視野が広がるのが分かります。私には愛国心があります。

(「ここは少し割愛します。」適者生存の法則が今は良くないとおっしゃっている件ですが、これをロータリーはいずれ解決してくれるでしょうと、適者生存の法則は非常に残忍であるという風に当時も理解をされています。)

ロータリーは私が少年時代を過ごしたニューイングランドの人々の特徴であった寛容、親切と奉仕の精神から生まれたものであること、そして私はその精神のうち自分で体得したものをできる限り皆さんにお伝えしたかったのです。生意気な言い方かもしれませんが地域社会に飛び込んでいくのに一番の早道はロータリークラブに入会することだと思います。さて、私とジーンの旅路も終わりに近づきました。今夜も炉辺に座って二人でお茶を飲んでいきます。世界の各地から訪ねてくれたたくさんの友達がこの暖炉を囲んで我々二人を楽しませてくれました。1905年に私が植えた苗木が実を結んだのです。最初のロータリークラブは苗だったのです。ところがその苗は今や大木に育って、その木陰は絶好の住処になりました。おお神様。人間の長所や国家の良いところは目につくように、短所や欠点は目に入らないようにどうぞお守りください。」

以上、My Road To Rotaryの本当に短くした文章でした。

「寛容」という言葉が何度も出てきています。これはロータリーで公式に取り上げていませんけれども、古い方々はロータリーの精神というのは「寛容」だよ、という事をおっしゃって下さっています。資料2は「ロータリー大河の系図」ということで僕が書きました。中央が精神文化です。左側が国際ロータリーのやっていること、右側が財団とか日本のロータリーが設立されたとか、米山財団のことが書かれています。ポール・ハリスが言っている通り、ロータリーを理解するには今やっていることを理解しなさいという事であります。資料3はロータリー情報のIDとパスワードの一覧です。地区のホームページ、マイロータリー、ロータリーの友の電子版、ロータリー文庫、米山記念奨学会ホームページ、手続要覧のダウンロードも出来るので参考にしてください。全てを一覧として、IDとパスワードで情報を取りに行くことが出来ます。会員一人ずつこれを利用し、バイブルのように持っている、ロータリー情報は全て得られると思います。ご清聴ありがとうございました。

<閉会・点鐘> 13:30 前田 会長

週報担当 比護 友一